

# 富津市一般廃棄物処理基本計画素案の修正について

令和5年2月7日 環境保全課

令和4年11月22日開催、第2回富津市廃棄物減量等推進審議会における富津市一般廃棄物処理基本計画素案に対する答申や各委員からの指摘内容等を踏まえ、下記のとおり修正を行い、計画案として調製しました。

## ●富津市一般廃棄物処理基本計画

指摘事項等	素案（旧）	案（新）
<p>【答申】</p> <p>1 基本理念である「豊かな自然と調和した誰もが参加できる持続可能な生活環境のまちづくり」の実現に努めること。</p>	—	<p>P7に新たに「計画の進行管理」の項目を追加しました。</p> <p>※長文のため、計画案参照</p>
<p>2 「富津市みらい構想」などの関係計画とも整合したなかで進捗管理を行うこと。</p>	—	<p>P7に新たに「計画の進行管理」の項目を追加しました。</p> <p>※長文のため、計画案参照</p>
<p>3 「富津市ごみダイエツト作戦100」や食品ロス削減を積極的に推進し、市民、事業者への啓発と具体的な施策の展開を図ること。</p>	—	<p>P46・47、「7. 各主体の取組」に追記しました。</p> <p>◇富津市ごみダイエツト作戦100に取組みましょう。</p>
<p>4 「人口一人一日当たりごみ総排出量」等の評価が類似団体等と比較して低い原因を精査し、今後の対応策を講じていくこと。</p>	—	<p>P37 「3. 課題の整理と対応策の検討(2)類似団体等との比較結果」に追記しました。</p> <p><u>これは、本市では事業系ごみの排出量が他自治体と比べ非常に多い傾向（千葉県平均と比べ約1.7倍）にあることなどが要因として考えられます。</u></p>
<p>5 事業系ごみの減量推進について、事業者に対し、ごみの適正な分別の徹底や再資源化の推進に努めるよう指導を行うとともに、具体的な減量施策についても検討を進めること。</p>	<p>P38 (3) 課題の整理 ①発生抑制の課題</p> <p>富津市ごみダイエツト作戦100の普及啓発を図るとともに、35.6%を占める事業系ごみに対する発生抑制を推進するための対策を講じていくことが課題となっています。</p>	<p>P39「(3) 課題の整理 ①発生抑制の課題」に追記しました。</p> <p>富津市ごみダイエツト作戦100の普及啓発を図るとともに、35.6%を占める事業系ごみの対策として、<u>事業者に対し、事業系ごみの適正な分別の徹底や再資源化の推進に努めるよう指導を行うとともに、今後、具体的な減量施策の検討を進めることが重要となります。</u></p>

<p>6 学校等において、環境問題等をテーマとした授業が取り入れられるよう環境教育の推進に努めること。</p>	<p>P48 基本施策</p> <p>◇環境教育・学習を充実し、啓発を強化します。</p> <p>P86 (2)市の取組</p> <p>○環境教育・学習を充実します。</p>	<p>P49 「基本施策」に追記しました。</p> <p>◇<u>環境教育・学習を充実させるため、学校等において、環境問題や身近なごみ問題をテーマとした授業が取り入れられるよう担当部局と調整を図るなど、環境教育の推進に努めます。</u></p> <p>P86「(2)市の取組」に追記しました。</p> <p>○<u>環境教育・学習を充実させるため、学校等において、水環境問題をテーマとした授業が取り入れられるよう担当部局と調整を図るなど、環境教育の推進に努めます。</u></p>
<p>7 食品ロスを減らせるよう周知・啓発に努めること。</p>	<p>—</p>	<p>P63「4. 基本的施策の推進」に追記しました。</p> <p><u>可燃ごみのなかでも比較的重量のある「生ごみ」の削減にあたっては、誰もが実践できる食品ロスの削減として有効です。食材の適量購入、適切な冷蔵庫内管理、適量調理が大きなごみ減量につながることから、市民が日常の生活を振り返って食品ロスを減らせるよう周知・啓発を行います。</u></p>
<p>8 快適な生活環境と健全な水環境の保全のため、合併処理浄化槽等の補助制度の在り方を検討するなど、施策の推進を図ること。</p>	<p>—</p>	<p>P86「(2)市の取組」に追記しました。</p> <p>○<u>快適な生活環境と健全な水環境の保全のため、合併処理浄化槽等の補助制度の在り方を検討するなど、施策の推進を図ります。</u></p>
<p>9 富津市クリーンセンターについて、適切で効率的な施設の維持管理を心がけるとともに、延命化に努めること。</p>	<p>—</p>	<p>P86「(2)市の取組」に追記しました。</p> <p>○<u>富津市クリーンセンター（し尿処理施設）については、日々の市民生活に支障をきたすことのないよう、適切で効率的な施設の維持管理を心がけるとともに、延命化に努めます。</u></p>